

スズキ電気大正琴



取扱いのしおり

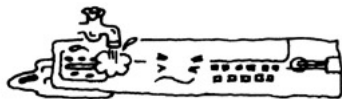
この度は、スズキ電気大正琴「ゆり」をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱いのしおりをよくお読みください。お読みになった取扱いのしおりはなくさないように大切に保管してください。

使用上のご注意

湿気は大敵です

水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障や破損の原因になることがあります。



熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなるところでの使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になることがあります。



ホコリっぽい場所は避けてください

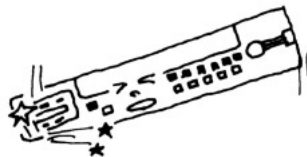
ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障や破損の原因になることがあります。



⚠ 注意

衝撃を与えないでください

楽器をぶついたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。



不安定な場所に置かないでください

楽器を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする恐れがあります。



調絃時は顔を遠ざけて

絃の張り替えや調絃の時は楽器に顔を近づけすぎないようにしてください。万一絃が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。



絃で手を傷つけないように

調絃や張り替え・お手入れのとき、絃の先端で手や指などを傷つけないように気をつけてください。絃を張り替えた後は、絃の不要な部分を切りそろえてください。



お手入れはやわらかい布で

お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。

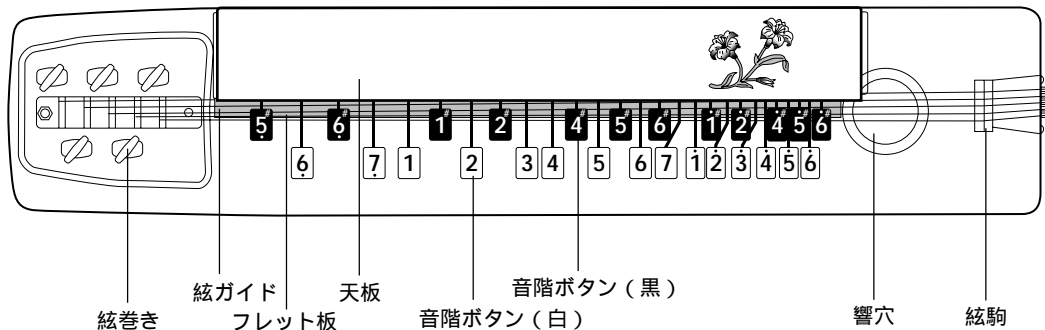


仕様

- 音域 / 5~6[#] 27鍵
- 絃 / 第一・第二・第三(細線)・第四(細巻線)・第五(太巻線)
- 表面板 / スプルス
- 側板・裏板 / カエデ
- 天板 / バーズアイメイプルツキ板
象嵌仕様
- 指板 / ブナ
- 接続端子 / 外部出力
- 付属品 / 調子笛・ピック・予備絃・ソフトケース・接続コード・セルベット

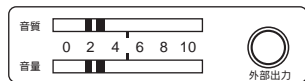
各部の名称

天板部（本象嵌） 熟練の職人が、一本一本丹精を込めて美しい象嵌を施しました。



●外部端子

音質



音量

出力ジャック

●付属品

調子笛



ピックセット



予備絃



接続コード

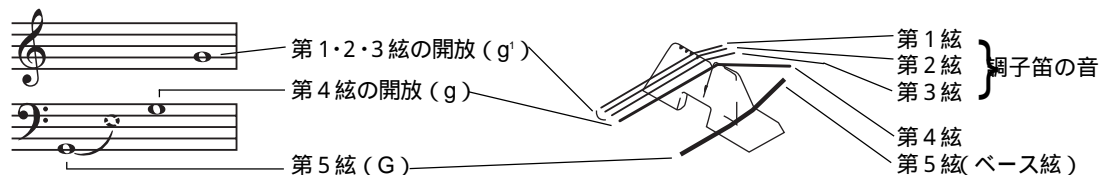


調 絃

演奏の前に付属の調子笛で調絃します。調絃は、各絃ともすべて開放(ボタンを押さえない)で行ないます。

▶ 調絃の手順


- (1) 調子笛を吹きながら第1絃をはじき、絃の音と調子笛の音が合うよう、絃巻きで調絃します。
絃巻きは、時計方向に回すと音程が上がり、反対方向に回すと下がります。
- (2) 調子笛を使わず第1絃の音と比較しながら第2・3絃を合わせます。つまり第1・2・3絃は共同音です。
- (3) 第4絃は第1・2・3絃より1オクターブ(8度)低く合わせます。
- (4) さらに第5絃(ベース)は、第4絃より1オクターブ(8度)低く合わせます。



■ お願い

当社では調絃済で出荷していますが、お買い上げ時には再調絃をしてください。

(別売の大正琴調律器「スズキチューナー ST-1000」を使用しますと簡単に調絃できます)

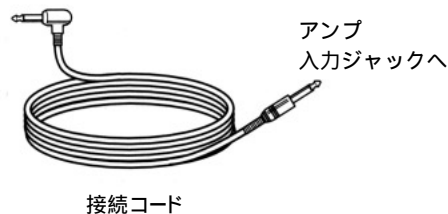
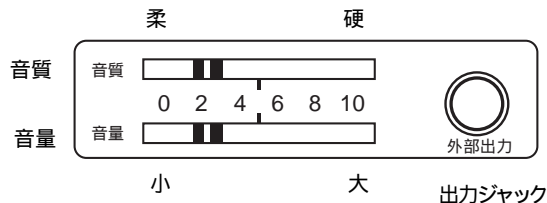
ベース絃の調絃は、演奏する曲目に合わせて調子を変えると効果があることがあります。あまり調子を上げすぎると絃が切れるおそれがありますので、 で示した範囲で調絃してください。

絃は消耗品です。さびたり、伸びきったり、切れかかっていると音色が悪くなります。早目に取り替えるようにしてください。

アンプへの接続と取扱い

▶ 操作の手順

- (1) 大正琴の出力ジャックとアンプとの入力ジャックを接続コードで接続します。
- (2) アンプの電源スイッチを入れます。
- (3) 大正琴の音量を最大にして試奏しながら、アンプの音量を音のひずまない位置に調整します。
- (4) 大正琴の音量・音質をお好みの位置に調整します。
(演奏中の音量・音質の調整は大正琴側で行ないます)



 <http://www.suzuki-music.co.jp/> 
インターネットでスズキホームページをご覧いただけます。